



バナナ園
グループ

2021年9月号

Monthly

September

BANANANEWS

WEST

ホームページにも情報満載！

バナナ園



アイ・ディ・エス
バナナ園
グループ



044-455-6119

和泉流女性狂言師 十世三宅藤九郎先生による オンライン狂言教室 スタート グループホーム「のんびりーす」「バナナ園ほりうち家」



バナナ園グループでは他にないユニークな活動として 2010 年より運営する認知症グループホームにて、プロとしての公演活動とともに伝統文化の普及・伝承にも力を入れている日本でもトップクラスの女性狂言師、和泉流の十世三宅藤九郎さんを講師として迎え「認知症グループホームでの狂言教室」を実施・開催しています。残念ながら昨年はコロナ禍のため開催を断念せざるを得ませんでした。長引くコロナ禍の中、外部からの訪問受け入れの制限等が続き、ご入居者のアクティビティ不足が懸念される中、2021 年度は全部で 8 回の「狂言教室」をオンラインで開催することになりました。

第 1 回の 8 月 20 日、藤九郎先生が和泉流宗家の舞台からお稽古を発信、それを川崎市中原区のグループホーム「グループホームのんびりーす」および「バナナ園ほりうち家」のタブレット端末で受信、各々の施設のテレビに映し出して「狂言教室」を開催するという試みです。認知症グループホームでの「狂言教室」も（多分日本〈世界〉初）ですが勿論グループホームでの「オンライン狂言教室」も世界初の試みになります。何度かのリハーサルを経てこの日の本番を迎えることになりました、双方向オンラインのイベントで高齢者の皆さんがどのように反応して頂けるか？また楽しんで頂けるか？開始するまで全く分かりません。施設のテレビの画面に藤九郎先生が登場すると「あのお方はどなた？」「ア！私たちに話しかけているわ？」「どういう仕組みかしら？」と戸惑い気味のご入居者たち。しかし、お稽古が進むうちに、リアルでの開催と同様の狂言教室の時のように皆で大きな声を出し始めました。今回のお稽古は狂言の謡くうたい「兎（うさぎ）」です。狂言独特の擬音語、擬態語を多用した謡です。藤九郎先生のお手本に続いてご入居者様も実際に声を出すのですが、節合わせに手拍子をしたり謡の文句の面白さについつい笑ってしまう方もいらっしゃいました。約 30 分のオンラインによる「狂言教室」リアルで行うものと「全く同じ」ではありませんが、ご入居者の皆様に関しては充分なアクティビティになったご様子でした。藤九郎先生は「10 年間グループホームで「狂言教室」を続けてきて、『狂言』がアクティビティとして皆様に受け入れて頂けることはわかっていました、ただそれが「オンライン」と言う形態、テレビ画面で認知症の高齢者の皆様にとどこまで伝えられるかは未知数でしたが、画面越しに皆様のお声や笑顔を拝見し充分とは言えませんがコミュニケーションも取れることがわかりました。自信を持ってオンライン狂言教室を続けられます。」と、語ってくれました。この「オンライン狂言教室」は全 4 事業所で来年 3 月まで毎月〈全 8 回〉開催予定です。



三宅藤九郎さんが和泉流宗家の舞台から会議用コミュニケーションツール「ZOOM」を利用しお稽古を配信、施設のタブレット写真左の下で受信したものをテレビで出力しました。本来狂言のお稽古は「口伝」で行いますが、先生も様々な小道具をご用意頂き、普段のお稽古とは違った工夫をされました。



十世三宅藤九郎さんミニ・プロフィール

実父で師匠は和泉元秀（和泉流十九世宗家）、祖父は九世三宅藤九郎とともに人間国宝：故人。弟は和泉元彌さん（二十世宗家）、姉は和泉淳子さん（史上初の女性狂言師）国内外での公演に加え、近年はアメリカ・ノースカロライナ州立大学客員フェロウとして狂言指導（2012 年）、内閣府の対米広報特使として 9 州 14 都市を訪問（2014、2016、2019 年）し、日本の伝統芸能を広く海外で紹介する活動とともに、狂言を通じて小中学生の「こころを楽しく育てる」活動に取り組んでいる。



オンラインでもお稽古は「礼に始まり礼に終わる」です。お稽古開始前にはまずご挨拶、そして姿勢を正します。この日は皆さんにとって初体験の「狂言教室」しかもオンラインということもあり、本来はご法度の「かば」も用意しましたが無用の長物になりました。※グループホーム「バナナ園ほりうち家」



今回の 2 施設の皆様はいずれも狂言教室初体験、テレビのスピーカーからの先生の大きな声に最初はびっくりされた様子でしたが慣れると皆真剣なまなざし、手拍子、大きな声が響きました。



通常の「狂言教室」は先生にグループホームに来ていただき、また地域の皆様を施設に招待し、皆で「狂言」に親しんで頂きます。併せてグループホームを地域に対し開かれた施設にする目的で開催されます。



真剣にテレビに向かう皆様のご様子。この日施設にご入居されたばかりの N 様、始まる前からソワソワと落ち着かない様子でしたが「狂言教室」が始まったとたんにお稽古に集中。「ここに来て今日が一番楽しかった!!」と、おっしゃっていました。※グループホーム「のんびりーす」



この日はグループホーム「のんびりーす」のご入居者 S 様の 99 歳のお誕生日。狂言教室終了後、藤九郎さん、「バナナ園ほりうち家」の皆様と共にオンラインで〈白寿〉のお祝いも開催!!

川崎市多摩区のグループホーム「バナナ園生田ヒルズ」より

♥短冊に願いをこめて♥

皆様、今年の七夕はいかがお過ごしでしたか？七夕と言えば、7月7日に行う地方やご家庭が多いかと思いますが、江戸時代までは旧暦の7月7日（今年新暦8月14日）に行われていました、有名な仙台の「七夕まつり」などは、今でもその前後（8月6日から8日間）で行われています。さて、ここ多摩区のグループホーム「バナナ園生田ヒルズ」では、7月7日（新暦の）七夕イベントを行いました。もちろんこの日の昼食のメニューは切り通り素麺です、七夕に素麺を頂く由来は、織姫の機織り糸に見立ててだとか、小麦が夏の病に良いという言い伝えからだとか、古代中国の伝説によるとか様々です。皆様つるりとお召し上がりしました！そして食事を終えた午後、この施設で一番の新人スタッフAさんが自宅から持って来てくれた笹で七夕飾りを皆で作りました。まずは折り紙で作ったスワガや網飾りを飾ります。そして手製の短冊にご入居者に願い事を書いていただきました。皆さま書かれることは様々です「さんぼをしたいな」「ほしのきらめき」と詩的な短冊を書かれるS様、「おやつをいっぱい食べたいな」「おまんじゅうが食べたいな」と現実的なY様、「何時迄も元気で明るい毎日が過ごせますように」と積極的なT様、「おすしが食べたい」と、もう一枚「おくさんにあいたい」と書かれたI様の短冊にはスタッフも思わずウゥ、「T姉の健康がはやく戻りますように」「Fさんに御礼が沢山したい」と書かれた優しいN様。また、O様は「むすこにあいたいな」の他に「だんすがしたいな」とスタッフもびっくりの願いごと。筆をとるのが難しいKa様には「元気で過ごせますように」、Ku様には「思う存分踊ったり歌ったりできますように」、とそれぞれスタッフが代筆させていただきました。飾り付けを終え、童謡「たなばたさま」を歌っておやつを食べて、そんな午後のひとときを過ごしました。施設での生活は単調になりがち。季節の行事レクリエーションはそれを防ぐ役割も果たします。他にも他の入居者様とのコミュニケーションや工作物を作ることによるリハビリ等様々な効果があるのです。毎年の事ながら梅雨時で大雨が多い7月ではありましたが、この日はお天気も良く、きっと牽牛と織女は会えたのでしょう、きっと皆様の願いも叶うと思います。



短冊に願いを書くのは七夕がまだ日本で貴族の文化だった頃、貴族たちが芸や学問の上達を祈り、紙に願い事を書きお供物と一緒に川に流していたのが起源と言います。

川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の杜」より

うな重で元気ハツラツ

長かった梅雨が終わると、一斉に鳴き始める蛙と共に暑い夏がやってきました。川崎市宮前区のグループホーム「バナナ園生田の杜」では毎年7月の「土用の丑の日」には、うな重をご用意し入居者様に召し上がっていただくのが恒例行事になっています。夏の土用は季節の変わり目で、気候の変化により体調を崩しやすい時期、滋養あふれる鰻は夏バテ解消、疲労回復に効果的な食材。鰻を食べてお灸をしっかりと補給し、元気に夏を乗り越えるため、施設でも欠かせない行事なのです。さて、今年の丑の日は7月28日。この日はお昼ごはんに入居者様の食事形態に合わせて、うな重をご用意しました、普通にうな重を召し上がる方、ソト食（食べる力が弱くなった方のために、柔らかく調理した食事）の方には、ひつまぶしのようにだし汁を掛けて召し上がって頂きます。いつも静かな様子でスタートする昼食が、うな重を見た瞬間に「ウワァァァ」「今日は久しぶりの鰻だね!!」「そうか土用の丑の日だね」「お灸つけるにはもってこいだね!!」皆、嬉しそうです。しかし食べ始めると及び静寂が…。普段はなかなか食が進まないAさんもこの日ばかりはあっという間に完食、いつもお食事中に何度も立ち上がってしまうB様も、この日ばかりは食べ終わるまで微動だにせず食事に集中、頬張るように食べていらっしゃいました、いつもおしゃべり好きなC様も食べるのに夢中です！さて、夏の土用の丑の日に鰻を食べるようになった起源は江戸時代に溯ります。天然の鰻の旬は冬、夏の鰻は味が落ちるため、当時夏場は鰻が売れなかったのです。困っている鰻屋から相談を受けた蘭学者の平賀源内は、「本日、土用の丑の日」と書いた貼り紙を店に貼り出すようアドバイス、その店はお蔭で千客万来。すると他の鰻屋も真似するようになり、次第に土用の丑の日に鰻を食べる風習が定着したと言われていました。鰻は昔から日本人に愛されてきた、少し贅沢な食材ですが日本では鰻の70%が60歳以上の高齢者が消費しているそうです。美味しいものは皆で食べると一層美味しいですが、この日は皆さんおしゃべりもせず、食べるのに夢中になり「土用の丑の日」のお昼ご飯はあっという間に終わってしまったことは言うまでもありません(笑)

それ以前から夏の土用の期間には夏バテ防止のために「丑の日」にちなみ「う」のつく食べ物<梅干し・瓜・うどん>等を食べる習慣がありました。それに「鰻」が加わりました。



グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか？

介護スタッフ募集中

★介護は7ヶ月~未経験だからこそその7ヶ月が必要ですよ！

■募集要項

★職種:ケア・スタッフ<①正社員/②非常勤職員>★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与:① 月給:224,781円~<18歳資格なし夜勤6日含む>

② 時給 1020<無資格>~1170円<介護福祉士>

※夜勤1回 18,000~20,000円<介護福祉士>①②処遇改善加算交付金含

★時間:9:00~17:00 17:00~翌9:00

★待遇:社保・有休・交通費規定内支給:月額 50,000円迄

★勤務場所:当社各施設 10箇所の中から通勤し易い場所を選べます。

●問合せ:㈱アイ・ディ・エス 採用担当まで

☎044-455-6117

2022年3月新卒社員募集中

会社説明会随時開催中

エントリーはこちらから→



マイナビ2022



バナナ園グループ

【グループホーム】

●川崎大師バナナ園 ☎044-280-2386

●第2バナナ園 ☎044-587-1773

●バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101

●バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361

●のんびりーす等々力 ☎044-750-9203

●のんびりーす ☎044-422-2295

●バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599

●バナナ園生田の杜 ☎044-789-5691/5692

●バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693

●バナナ園横浜山手 ☎045-264-9634



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)

通算第201号 編集:株式会社アイ・ディ・エス

川崎市中原区新丸子町734-2 ☎044-455-6119

<HP> <http://www.bananaen.com/>